

(1) レセプト対応電子カルテ開発

1. 電子カルテ開発

現在、無償で提供している電子カルテをレセプト対応にする改造を NEC-M に委託。仕様の詳細については検討中。

2. レセコン販売（取次ぎ）

既にパソコンを保有している会員を考慮して、機種を選択は基本的に自由にする。

しかし、まだ保有していない会員にはサポートなど総合的に考えて会と契約推奨するパソコンメーカーおよび回線業者を挙げ、御紹介する形をとる。

さらに、障害者向けのプログラムや、ネット回線を同一にすることで会員同士の電話代は無料といった IP 電話の仕組み、パソコンの設定までをスタッフが自宅まで来てやる有償・無償のサービスといったことも紹介。また、これらを通じて仲介手数料が会に入るように交渉中。

3. 個別サポート契約

パソコンや周辺機器のサポートはメーカーや取次店に電話または出張などで個別に対応していただくが、電子カルテのサポートは基本的に鍼灸ネットの会員限定エリアの会議室でのみ行われる。しかし、自らがネットの会議室において質問し回答を得ることが出来ない方々向けには、サポート代行として事前に契約した業者（個人でも可能）を紹介する。

電子カルテサポート契約について

【主旨と内容】

会員にレセプト対応の電子カルテを普及し保険運動を有利に展開させることを目的として、レセプト対応電子カルテシステムに関するサポート業務を中心とした事業で（社）日本鍼灸師会との間においてビジネスパートナーとして契約を結ぶ。その上で、それを希望する当会会員との間で個別にサポートを含む各種サービス（電子カルテにとどまらない）提供を行うものとする。

【契約までの手順】

登録申請：IT委員会に必要項目をうめた申請書をインターネットのフォームから送信。

資格認定：何度かのメールでのやり取りを通じて、パソコンおよびソフト操作の指導が可能であるとIT委員会が認めた場合認定する。

日鍼会認定サポート業者登録：認定時に手数料 8 万円。毎年更新され、更新料は 8 万円。

公開：契約が結ばれると認定業者は、鍼灸ネットホームページにバナーという形で貼り付き、ここから各業者のホームページに接続（リンク）される仕組みを作る。

さらに新報でも記事として紹介される。なお業務内容に関して、地元の利を生かしてサポート込みパソコン販売などを行ったり、ネット上でショッピングカートを設置したりすることも構わない。

さらに別契約にて鍼灸ネットで行われる予定のメールマガジン（定期的な一斉メール送信による情報伝達）に広告を出し、会員限定特別価格での販売とか、注文をとることも計画していく。

【契約の解消】会の方針に反する営業活動や妨害などが行われたと本会が判断した場合、何らかの問題が生じたとき、解約の申し出のあった時など、契約は解消される。

4. 開発およびサポート費用について

初期段階での支出は 200 万。この内訳は、NEC-M に開発費用として 100 万、機能拡張やプロテクトプログラム開発およびサポート用会議室運営費用の 100 万。なお、購入された会員から得られる登録費 5 千円は、売れた本数分会が NEC-M に支払う。そして、サポート会議室のあるポータルサイト参加費用（1 万/年間）に関しては、運営費を差し引いた残りで次に計画されているネットワーク対応型中央審査方式の電子カルテ開発費用に充てるものとする。なお次の計画が順調に進めば、参加費は減額または無料にすることも検討。

(2) 鍼灸ポータルサイト(HARIQ.NET)の運用

【現在および予定しているコンテンツ】

一般向け(無料)

1. 鍼灸院紹介
2. 疲れたらハリの人(各種病氣相談)
3. 質問・相談・苦情何でも会議室(情報収集とPR)
4. 更新履歴
5. アンサー紹介
6. アンサー審査申し込み
7. 問合せフォーム

主に、鍼灸院の紹介とアンサーらによる質問に対する回答を通じて鍼灸の普及啓蒙と不安の払拭などを行う。

会員向け(利用料金:16,000

円/年間) = 日鍼会本会会費

1. 鍼灸院登録(新報送付・会員限定有料HP制作サービス)

2. レセプト機能付き電子カルテ提供

(初年度登録費:5,000円+会員限定エリア年間使用料10,000円)

ダウンロード(プロテクトキープログラムを付けるか検討中)

希望者にはCD-Rで郵送(送料を含む金額は検討中)

なおレセプト審査と申請は各師会でまとめて実施するので、委任払いを行うには各師会会費が別途必要。

会員限定エリア(口座に振り込み確認でIDとパスワード発行)

会員限定エリア年間使用料10,000円(振込みがないと抹消)次の計画で無料化を目指す

ここで新たに行う予定のコンテンツ

1. 電子カルテサポート会議室

2. リスクマネージメント

一般ないしは鍼灸院患者から知らされた無資格者による有害事象を会議室などで報告、収集し、事故対策委員会を通じた処理をリスクマネージメントの観点から検討。さらに無資格診療を排除するメディア誘導を対マスコミ向けに番組制作会社などを通じて企画案などの提供を計画的に行うことも検討していきたい。

3. 広報誌のオンライン化

広報誌(新報)の印刷所と連携したPDFファイル化により早い更新作業と必要な情報を会員限定エリアにて提供。と同時に点字ユーザーへのデジタルデータ(FDDまたはHPからダウンロード)での提供を検討。

4. 学術講習会や学会東京地方会の講義など動画配信

現在行われているビデオで販売配布する方法は新たなシステムへの移行を検討。つまり、ポータルの会員限定エリアに入りビデオ映像をみるか単価の安いCD-RまたはDVDに焼いて販売する方式。

5. 生涯学習の場としてのネット利用

アンサーでやり取りされていることを新報で一部紹介し、インターネットを通じた在宅学習の可能性について会員に問うとともに、生涯学習、研修の場として新たな会議室設置を検討。

6. 臨床経験の少ない会員向けのヘルプデスク

一般からの相談窓口としてだけでなく、患者対応という意味でも熟練した技術を備えた先生方であるので、増員して臨床経験の少ない会員向けのヘルプデスクとして、つまり未然に事故等を防止する観点からも有益な助言者として活躍の場を新たに設置することを検討。

鍼灸ネット(HARIQ.NET)

一般向け(無料)

- 1) 鍼灸院紹介
- 2) 疲れたらハリの人(各種病氣相談)
- 3) 質問・相談・苦情何でも会議室(情報収集とPR)
- 4) アンサー紹介と審査

レセプト機能付き電子カルテ提供
(キープログラムは1年間有効)
初年度登録費 5千円

+
会員限定エリア年間使用料1万円
(希望者にはCD-Rで郵送2千円)
レセプト審査と申請は現在は各師会
が実施につき各師会会費が別途必要

付帯サービス

電子カルテインストール済みパソコン販売とサポート(出張含)
インターネット回線接続

日鍼会 会員限定

(電話番号で制限)

1万6千円/年間 = 日鍼会本会会費

鍼灸院登録
新報送付
HP制作サービス

HARIQ.NET 会員限定エリア

(IDとパスワード発行)

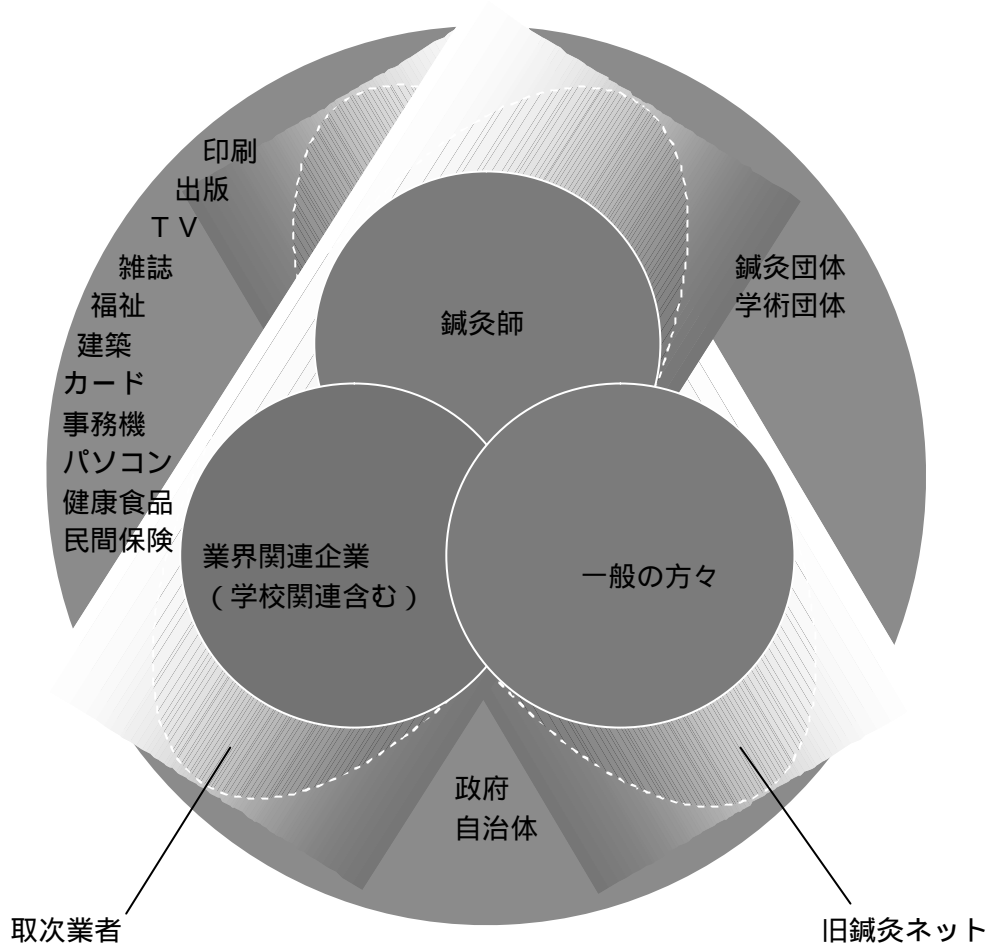
会員限定エリア年間使用料1万円

電子カルテサポート会議室
学術講習会等の動画配信
(実技講習・症例検討会など)

電子カルテを使うには)

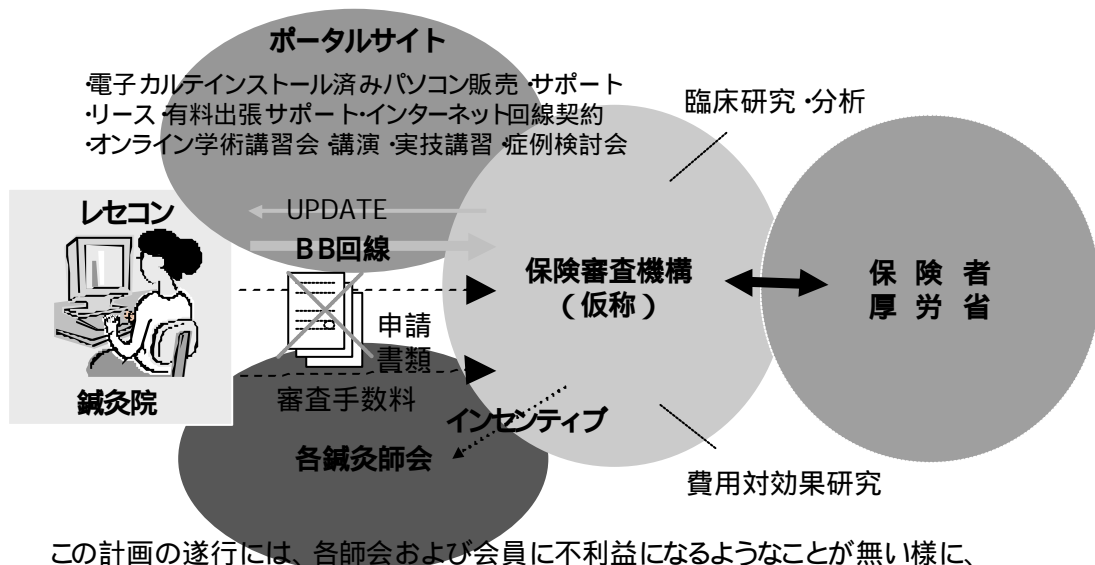
初年度費用:日鍼会会費1万6千円+カルテ登録費用5千円+限定エリア年間使用料1万+各師会(保険)会費
次年度費用:日鍼会会費1万6千円+限定エリア年間使用料1万+各師会(保険)会費

次の鍼灸ネット（業者を巻き込んだ真のポータルサイトを目指す）



次の電子カルテ（ネットワーク中央審査システム対応型レセプトシステム）

電子カルテの将来構想



この計画の遂行には、各師会および会員に不利益になるようなことが無い様に、ご意見をお聞きしつつ慎重に構築していきます。ご協力御助言をお願いいたします。